

ナパ・ヴァレー「山カベ」の第一人者クリス・カーペンター/ワインメーカーが4つのマウンテンAVAの特徴を綿密に描き出す

創業1995年、ロコヤは、ナパ・ヴァレーの4つの標高の高い山岳AVAの自社畑及び厳選した契約農家から100%カベルネ・ソーヴィニヨンで4つのワインを造る。マウント・ヴィーダー、ハウエル・マウンテン、スプリング・マウンテン、ダイヤモンド・マウンテンである。カベルネ・ソーヴィニヨンを通して、各山岳AVAの個性（気候、土壌、日照など）をグラスに注がれたワインに綿密に表現することを一貫した理念としている。標高が高い葡萄畑では栽培管理が非常に重要で日々最新の注意を払っていく必要がある。各ヴィンテージにおける畑の状況を深く理解し、収穫された果実の個性をそのままにワイン造りにおいても人的介入は最小限に抑え、果実が可能な限り自然で雄弁に表現できるように促すのはワインメーカー「クリス・カーペンター」の手腕である。2023年全ての自社畑がCCOF（オーガニック認証）を取得。ジャクソン・ファミリー・ワインズ傘下。

LOKOYA

限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Cabernet Sauvignon Spring Mountain Napa Valley カベルネ・ソーヴィニヨン スプリング・マウンテン ナパ・ヴァレー Spring Mountain		赤	2019 2007蔵出	750	¥120,000 ¥200,000	19)Jeb Dunnuck 98P 07)Parker Point 95P
Cabernet Sauvignon 100% スプリング・マウンテン自社畑ワテレ・ヴィンヤード（標高300m）、自社畑イヴェルドン・ヴィンヤード（標高640m）を主体に、契約栽培のスプリング・マウンテン・ヴィンヤード（標高550m）がブレンド 仏産樽（新樽87%）にて21ヶ月熟成 ナパ・ヴァレーとソノマ・カウンティを隔てるマヤカマス山脈の東斜面、セント・ヘレナの町の上に位置する。特徴的な花の香り、深い赤系果実の風味、滑らかなタンニン、引き締まった酸味と堅牢な硬いがっしりとしたタンニンに支えられ、甘やかなフィニッシュが印象に残る。							
	Cabernet Sauvignon Diamond Mountain Napa Valley カベルネ・ソーヴィニヨン ダイヤモンド・マウンテン ナパ・ヴァレー Diamond Mountain		赤	2019 2007蔵出	750	¥120,000 ¥200,000	19)Jeb Dunnuck 97+P 07)Parker Point 96P
Cabernet Sauvignon 100% ダイヤモンド・マウンテン 自社畑ライオライト・リッジ・ヴィンヤード（標高365m）、自社畑ウオリス・ヴィンヤード（標高450m）を主体に、契約栽培のアン德里ュー・ジョフリー・ヴィンヤード（標高550m）がブレンド 仏産樽（新樽84%）にて21ヶ月熟成 北部のカリストガの町を見下ろし、ナパ・ヴァレーの西端を縁取るマヤカマス山脈の一部であり、霧が上がる遥か上に位置するブドウ畑は、北部のヴァレー・フロアに比べると気温差が少なく、日中は涼しく、夜間は暖かい。豊かなブラックチェリーの風味とダークチョコレートの香りを示し、タンニンが比較的柔らかいフルボディのワインとなる。							
	Cabernet Sauvignon Howell Mountain Napa Valley カベルネ・ソーヴィニヨン ハウエル・マウンテン ナパ・ヴァレー Howell Mountain		赤	2019 2007蔵出	750	¥120,000 ¥200,000	19)Jeb Dunnuck 100P 07)Parker Point 97P
Cabernet Sauvignon 100% ハウエル・マウンテン 自社畑 W. S. キーズ・ヴィンヤード（標高556m） 仏産樽（新樽91%）にて21ヶ月熟成 ヴァカ山脈の北東に位置し標高556m、火山性のトゥーフア土壌（火山灰堆積）と鉄分を含んだ赤い粘土。霧ラインより遥かに高く、気温は低いが穏やかで、特にカベルネ・ソーヴィニヨンは熟すのに十分な生育期間がある為、皮の厚い葡萄となる。熟したブラックベリー、ダークチョコレート、トースト、松脂の風味、砂利や鉄分のようなミネラルのスパイスが効き、濃厚で力強い素晴らしい特徴を備えている。							
	Cabernet Sauvignon Mount Veeder Napa Valley カベルネ・ソーヴィニヨン マウント・ヴィーダー ナパ・ヴァレー Mount Veeder		赤	2019 2007蔵出	750	¥120,000 ¥200,000	19)Jeb Dunnuck 100P 07)Parker Point 99P
フラッグシップワイン 1995年以来ロコヤは急峻な山地に位置する選りすぐりの区画から評価の高いワインを造り続けている。Cabernet Sauvignon 100% マウント・ヴィーダー 自社畑 ヴィーダー・ピーク・ヴィンヤード（標高549m） 仏産樽（新樽84%）にて21ヶ月熟成 自社畑は西の尾根に位置し、陽光に十分に照らされる。地質は主に堆積土壌、一部火山性の土壌、サン・パブロ湾に近い為、ナパ・ヴァレーの他のどの山岳地域よりも早く、午後の早い時間帯に涼しくなっていくのが特徴。ブルーベリーパイ、糖蜜、ジャスミンの香り、アジアンスパイス、トースト、秀逸な酸と、がっしりとしたタンニンが見事に組み合わせられ、永遠に続くようなフィニッシュを生み出している。							



ナパ・ヴァレー「山カベ」の第一人者 4つのマウンテンAVAの特徴を綿密に描き出す

創業1995年、ロコヤは、ナパ・ヴァレーの4つの標高の高い山岳AVAの自社畑及び厳選した契約農家から100%カベルネ・ソーヴィニヨンで4つのワインを造る。マウント・ヴィーダー、ハウエル・マウンテン、スプリング・マウンテン、ダイヤモンド・マウンテンである。カベルネ・ソーヴィニヨンを通して、各山岳AVAの個性（気候、土壌、日照など）をグラスに注がれたワインに綿密に表現することを一貫した理念としている。標高が高い葡萄畑では栽培管理が非常に重要で日々細心の注意を払っていく必要がある。各ヴィンテージにおける畑の状況を深く理解し、収穫された果実の個性をそのままにワイン造りにおいても人的介入は最小限に抑え、果実が可能な限り自然で雄弁に表現できるように促すのはワインメーカー「クリストファー・カーペンター」の手腕である。

クリストファー(以下クリス)・カーペンターは、現在ジャクソン・ファミリー傘下のワイナリー、ナバ・ヴァレーではロコヤ、ラ・ホタ、カーディナル、マウント・ブレイブ、カラダン。南オーストラリアのヒッキンボッサムのワインメーカーを務める。

シカゴ出身、大学では生物学を学び、医療機器関連企業に勤め、シカゴの食文化、レストランシーンでワインに親しみ、1993年にナバ・ヴァレーを訪れた機会に、科学的知性と創造性の両方に挑戦できるライフスタイルに感銘。その後すぐにUCデイヴィスで学び始め、栽培と醸造の両分野で修士号を取得。その後イタリア・ティニャネロで研修し、そこでワイン、食事、文化がどのように融合していくかを学び、今後の指標になったと言う。1998年、クリスはナバ・ヴァレーに戻り、カーディナルで働き始め、2000年にはロコヤのワインメーカーに任命。その後、ラ・ホタ、マウント・ブレイブのワインメーカーに就任するとともに、自社畑をハウエル・マウンテン、マウント・ヴィーダーに取得する。クリスの科学的視点とワイン、食、文化への飽くなき探求と情熱が、多くのワイナリーを統括しつつ、それぞれの畑、ワイナリー、ワインの個性を的確に表現していく源となっている。

現在、クリスは妻のティナとともにフローフード協会ナバ・ヴァレー支部、ナバ郡資源保全協会、フェスティバル・ナバ・ヴァレー、ナバ・ヴァレー・ユース・シンフォニーの役員を務める。熱心なコンサート愛好家である。

クリス曰く「成功とは、自分の好きなことを、好きな時に、好きなようにできる自由を手に入れることである。そしてその結果、自分が創造したものを他の人々が楽しみ、感謝するのを見るのが最大の喜びです。」

4つの山岳AVA認定年度 / ロコヤ初リリース年度

1983年：ハウエル・マウンテン/初VTG 1995年
1990年：マウント・ヴィーダー/初VTG 1995年
1993年：スプリング・マウンテン/初VTG 2005年
2001年：ダイヤモンド・マウンテン/初VTG 1995年



CHRIS CARPENTER



カベルネ・ソーヴィニヨン スプリング・マウンテン ナパ・ヴァレ
2019 Cabernet Sauvignon Spring Mountain Napa Valley

希望小売価格(税別)
120,000 円



品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% 初リリースは2005年VTGより

AVA：スプリング・マウンテン、ナパ・ヴァレー

畑：自社畑ウルテル・ヴィンヤード(標高300m)、自社畑イヴェルドン・ヴィンヤード(標高640m)を主体に、契約栽培のスプリング・マウンテン・ヴィンヤード(標高550m)がブレンドされる。

1993年AVAに設立されたスプリング・マウンテン・ディストリクトは、ナパ・ヴァレーとソノマ・カウンティを隔てるマヤカマス山脈の東斜面、セント・ヘレナの町の上に位置する。日中の冷涼な気温、痩せた土壌、急傾斜の葡萄畑は段々畑が組み合わさり、カベルネ・ソーヴィニヨンにとって理想的な生育条件を生み出している。スプリング・マウンテンのワインは、特徴的な花の香り、深い赤系果実の風味、滑らかなタンニンを表現している。

醸造：仏産樽(新樽87%)にて21ヶ月熟成

2019年ワインメーカー/クリス・カーペンターのコメント：

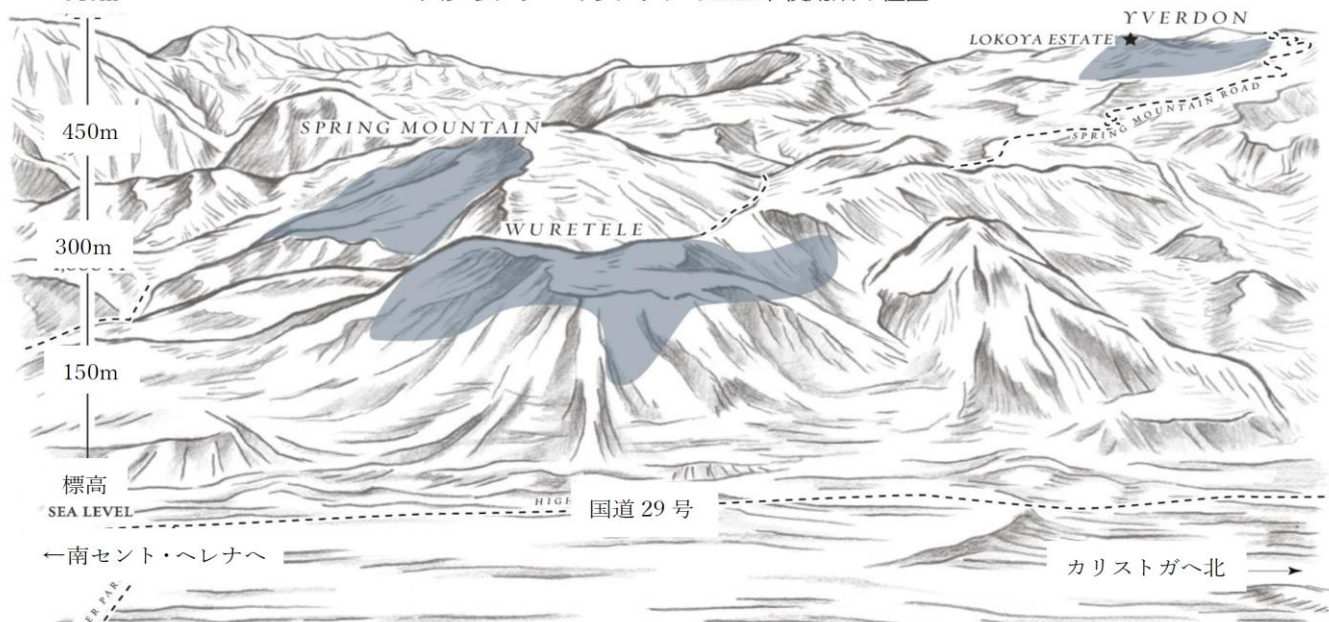
スプリング・マウンテンに初めてブドウを植えたのは、1874年にラ・ベルラ・ヴィンヤードを植えたチャールズ・レムとされている。スプリング・マウンテンは地形的に珍しい組み合わせで、堆積土壌と火山性土壌の両方が混在しているため、山の斜面全体に多くの小さな泉が湧き出しており、これがこのAVAの名前の由来となっている。この土壌と全般的に穏やかな気温の組み合わせは、2019年のロコヤに特によく表れており、ラズベリー・ジャム、イタリアン・マリネ・チェリー、桜の花のアロマが感じられ、引き締まった酸味と堅牢な硬いがっしりとしたタンニンに支えられ、甘やかなフィニッシュが印象に残る。

98P ジェブ・ダナックのコメント(December 2021)：熟した赤と黒のプラム、黒鉛、ブーケ・ガルニ、タバコ、見事なブーケの香り。リッチでフルボディ、見事なバランスと長い余韻のある味わい。複雑さ、ニュアンス、バランス、そして力強さと豊かさが光る。4~5年の瓶熟に値し、20~25年は保つだろう。



**SPRING MOUNTAIN DISTRICT
 NAPA VALLEY**

スプリング・マウンテンのロコヤ使用畑の位置



スプリング・マウンテン・ヴィンヤード

契約畑 標高：550m

設立：1873年~1891年開墾・植樹開始

植樹面積：91ha 135ブロック

土壌：火山性堆積ローム

ワインの個性：細かい良質なタンニン、
華やかな花の香り、赤系果実

ウルテル・ヴィンヤード

自社畑 標高：300m

設立：1991年 開墾・植樹開始

植樹面積：14ha 16ブロック

土壌：火山性堆積ローム

ワインの個性：細かい良質なタンニン、
華やかな花の香り、赤系果実

イヴェルドン・ヴィンヤード

契約畑 標高：640m

設立：1960年代に開墾・植樹、2001~2008年改植

植樹面積：10ha 39ブロック

土壌：川の堆積土壌が隆起&火山性堆積ローム

ワインの個性：細かい良質なタンニン、
華やかな花の香り、赤系果実

2019 カベルネ・ソーヴィニヨン ダイヤモンド・マウンテン ナバ・ヴァレー
Cabernet Sauvignon Diamond Mountain Napa Valley

希望小売価格(税別)
120,000 円



品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% 初リリースは1995年VTG創業時より
AVA：ダイヤモンド・マウンテン、ナバ・ヴァレー

畑：自社畑ライオライト・リッジ・ヴィンヤード(標高365m)、自社畑ウォリス・ヴィンヤード(標高450m)を主体に、契約栽培のアンドリュウ・ジョフリー・ヴィンヤード(標高550m)がブレンドされる。
ダイヤモンド・マウンテンはナバ・ヴァレー北部のカリストガの町を見下ろし、ナバ・ヴァレーの西端を縁取るマヤカマス山脈の一部である。霧が上がる遥か上に位置するブドウ畑は、北部のヴァレー・フロアに比べると気温差が少なく、日中は涼しく、夜間は暖かい。標高が高く、土壌が痩せ、気候が穏やかなため、豊かなブラックチェリーの風味とダークチョコレートの香りを示し、タンニンが比較的柔らかいフルボディのワインとなる。

醸造：仏産樽(新樽84%)にて21ヶ月熟成

2019年ワインメーカー/クリス・カーペンターのコメント：

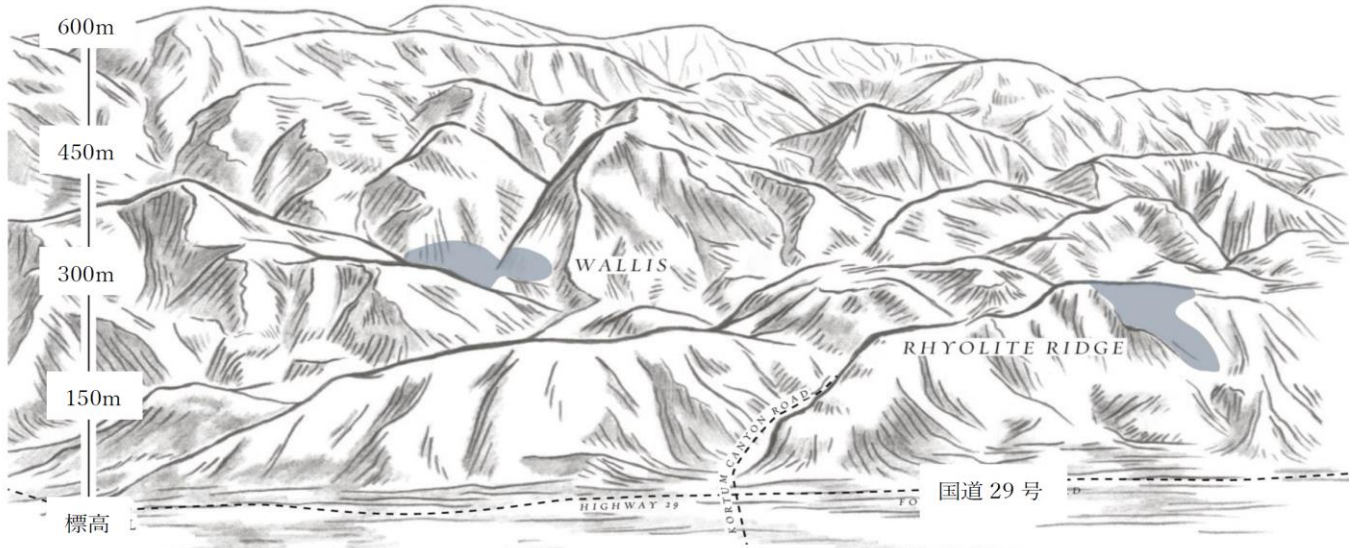
「1868年、ジェイコブ・シュラム(シュラムスバーグの創業者)は、ナバ・ヴァレー最北端・西側山裾の小さな区画に植樹したのがこの地区の葡萄畑の最初となる。土壌は火山性で、黒曜石や流紋岩(ライオライト)の破片が一般的なローム層土壌と絡み合っていたため、この地域はダイヤモンド・マウンテンとして知られるようになる。ここは他の山岳AVAよりも少し温暖で、毎日霧が最初に発生する山のひとつである。2019年はボイゾンベリー、スベアミント、エスプレッソ豆を挽いた時の弾けるような香りと、繊細なミネラル感、ビターチョコレートのような果実味、丸みがありマイルドながら、しっかりとしたタンニンが感じられる。」

97+P ジェブ・ダナックのコメント(December 2021)：エレガントでありながら凝縮感があり、しっかりとした酒質で、横に広がりを感じるカベルネ。クレーム・ド・カシス、ブラック・ラズベリー、黒鉛、焦がした土、いくつかの花の香りが際立ち、味わいはフルボディで、ピュアな果実、しっかりと熟したタンニン、明るい酸味、秀逸なミネラル感がある。このリッチで凝縮した骨格のある2019年は5~6年の瓶熟を保証し、信じられないほど長く熟成するであろう。」



DIAMOND MOUNTAIN DISTRICT
NAPA VALLEY

ダイヤモンド・マウンテンのロコヤ使用畑の位置



← 南セント・ヘレナへ

カリストガ市街

ウォリス・ヴィンヤード

自社畑

標高：300m

設立：1991年 開墾・植樹開始

植樹面積：14ha 16ブロック

土壌：火山性堆積ローム

ワインの個性：細かい良質なタンニン、
華やかな花の香り、赤系果実

ライオライト・リッジ・ヴィンヤード

契約畑

標高：640m

設立：1960年代に開墾・植樹、2001~2008年改植

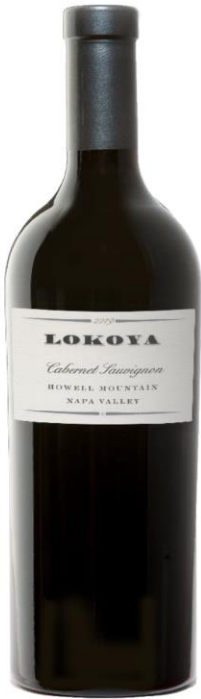
植樹面積：10ha 39ブロック

土壌：川の堆積土壌が隆起&火山性堆積ローム

ワインの個性：細かい良質なタンニン、
華やかな花の香り、赤系果実

2019 カベルネ・ソーヴィニヨン ハウエル・マウンテン ナパ・ヴァレー
Cabernet Sauvignon Howell Mountain Napa Valley

希望小売価格(税別)
120,000 円



品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% 初リリースは1995年VTG創業時より
AVA：ハウエル・マウンテン、ナパ・ヴァレー
畑：自社畑 W. S. キーズ・ヴィンヤード(標高556m)

ナパ・ヴァレーのヴァカ山脈の北東に位置するハウエル・マウンテンAVAの最高点は標高762mになる。自社畑W.S.キーズ・ヴィンヤードは1888年に植樹され、1995年の初ヴィンテージ以来、ロコヤのハウエル・マウンテン独占畑として造り続けられている。標高556m、霧ラインより遥かに高く、気温は低いが穏やかで、特にカベルネ・ソーヴィニオンは熟すのに十分な生育期間がある為、皮の厚い葡萄となる。畑はボンデローサ松の森に囲まれ、安定した風と日光を浴び、痩せた水はけの良い土壌は、葡萄の樹にストレスを与え、小粒のブドウが収穫でき、深みのある凝縮した味わいと、特徴的なミネラル感、土っぽさを持つ。

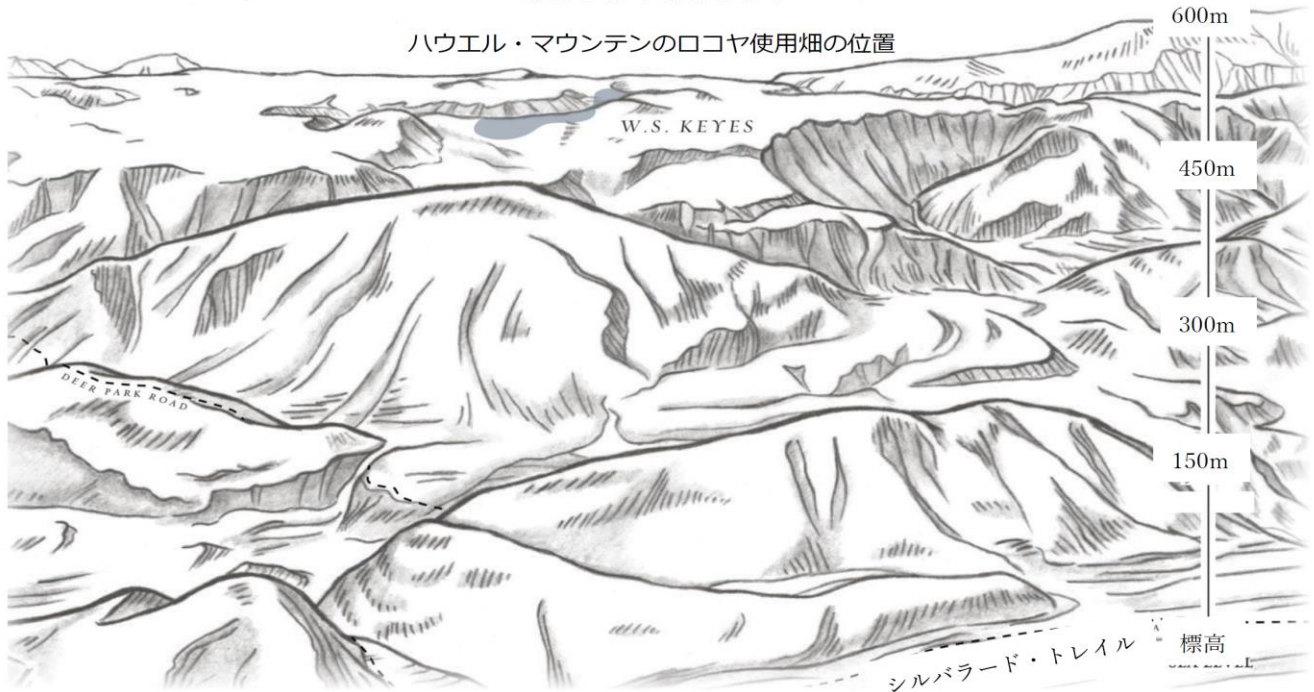
醸造：仏産樽(新樽91%)にて21ヶ月熟成

2019年ワインメーカー/クリス・カーベントのコメント：「フレデリック・ヘスやW.S.キーズのような葡萄栽培のバイオニアが、1800年代後半にハウエル・マウンテンをワイン産地として確立。特徴的な土壌は、火山性のトゥファ土壌(火山灰堆積)と鉄分を含んだ赤い粘土、そして針葉樹が長い年月をかけて葉を土に埋め戻したことに由来する。サン・パブロ湾から北に向かう冷たく湿った空気の多くがハウエルを通過し、この地域の赤ワインにヨーロッパ的な特徴を与えている。2019年のロコヤは、熟したブラックベリー、ダークチョコレート、トースト、松脂の風味にその効果が表れており、砂利や鉄分のようなミネラルのスパイスが効いた素晴らしい口当たりと力強く凝縮した特徴を備えている。

100Pジェブ・ダナックのコメント(December 2021)：信じられないようなクレーム・ド・カシス、チョーキーなミネラル、鉄分、春の花、ブラックオリーブのタブナードが香りを際立たせ、口に含むとフルボディで、タンニンが積み重なり、樽が良く溶け込み、果実の素晴らしい完熟感があり、素晴らしいフィニッシュを持つ。グラスの中で時間を置くと美しく開き、古典的なマウンテンの骨格と凝縮感がある一方で、豊かな果実味としなやかな口当たりが素晴らしい、疑いなく今でも楽しんで飲むことができるが、できることなら4~5年はボトルを隠しておきたい。30~40年熟成する偉大なワインです。

HOWELL MOUNTAIN
NAPA VALLEY

ハウエル・マウンテンのロコヤ使用畑の位置

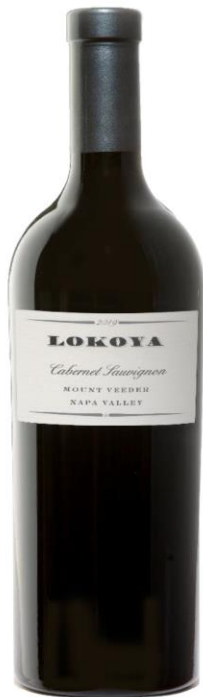


W.S. キーズ・ヴィンヤード 自社畑

標高：556m ハウエル・マウンテンAVAのいくつかの頂きの一つで、高い標高にある平地部分に位置する。
設立：1881年開墾・植樹開始 植樹面積：27ha 33ブロック 土壌：白い火山灰堆積土壌の鉄分を含む赤土の火山性土壌に大きな岩が混じる。ワインの個性：がっしりとした良質なタンニン、鉱物的なミネラル感と土壌に由来する土っぽさを持つ。

カベルネ・ソーヴィニヨン マウント・ヴィーダー ナバ・ヴァレー
2019 Cabernet Sauvignon Mount Veeder Napa Valley

希望小売価格(税別)
120,000 円



品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100% 初リリースは1995年VTG創業時より
 AVA：マウント・ヴィーダー、ナバ・ヴァレー
 畑：自社畑 ヴィーダー・ピーク・ヴィンヤード(標高549m)
 マウント・ヴィーダーAVAはナバ・ヴァレーの西側マヤカマス山脈が立ち上がる南端から最上部の700mの頂まで駆け上がる。ナバ・ヴァレー南側の涼しい気候の影響を位置によって大きく受ける。ロコヤの自社畑は西の尾根に位置し標高549m、陽光に十分に照らされる畑。1995年以来、ロコヤは急峻な山地に位置する選りすぐりの区画からカベルネ・ソーヴィニヨンを作っている。この自社畑の葡萄は火山性土壌、高標高で大きなストレスを受けながら地中深く養分を求め、凝縮し複雑味を持つ果実を实らせる。ワインはスマイレと青い果実の特徴を示し、力強いタンニンと卓越した熟成ポテンシャルを持つ。

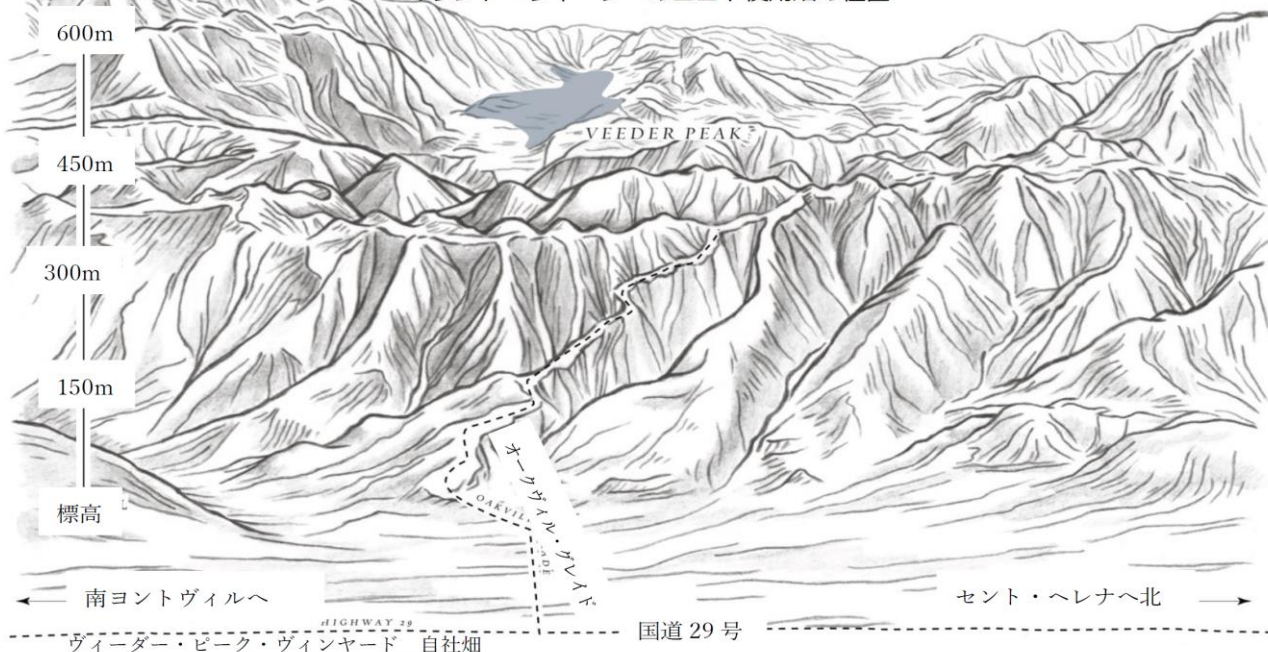
醸造：仏産樽(新樽84%)にて21ヶ月熟成

2019年ワインメーカー/クリス・カーペンターのコメント：「マウント・ヴィーダーは、マヤカマス山脈の南端に位置する山で、19世紀に急成長したドイツ人コミュニティの一員であった長老派の牧師、ピーター・ヴィーダーに敬意を表して名付けられた。マウント・ヴィーダーの最初のワインは、1864年にステルハム・ウィングによって造られ、そのワイン造りの伝統は今日まで続いている。この地域の地質は、主に堆積土壌で構成されているが、一部火山性の土壌もあり、サン・パブロ湾に近いので、ナバ・ヴァレーの他のどの山岳地域よりも早く、午後早い時間帯に涼しくなっていくのが特徴。マウント・ヴィーダーのワインは、この土壌と気候のユニークな組み合わせを並外れた形で示す傾向があり、2019年のロコヤも例外ではない。ブルーベリーパイ、ほのかな糖蜜、ジャスミンの花の香り、アジアンスパイス、トースト、そして秀逸な酸と、がっしりとしたタンニンが見事に組み合わせ、永遠に続くようなフィニッシュを生み出している。」

100P ジェブ・ダナックのコメント(December 2021)：“もうひとつの魅力的なワイン(もうひとつはハウエル・マウンテンに100点)。シャトー・ラトゥールのような風格と威厳を持ち、フルボディの豊かさと驚くほどの凝縮感、そしてがっしりとした酒質を備えている。カシス、ブルーベリー・リキュール、鉛筆の削りかす、砕いた石、黒鉛の香りが魅力を際立たせ、口に含むと驚くほどのパワーと華やかさが広がる。これは2019年ベストのカベルネ・ソーヴィニヨンと言えるほど素晴らしい、クリス・カーペンターは明らかに2019年ナバ・ヴァレー最高峰のワインに仕上げている。できれば4~5年寝かせたい、更に30~40年は間違いなく楽しめる偉大なワインである。”



MOUNT VEEDER
 NAPA VALLEY
 マウント・ヴィーダーのロコヤ使用畑の位置



標高：549m 夜冷え込む畑 設立：1995年開墾・植樹開始 植樹面積：25ha 28ブロック 土壌：火山性土壌、岩が多く混じる。
 ワインの個性：力強いタンニン、すみれ(紫系)や青系果実主体